安寿（あんじゅ） 住宅用連続手すり L型エルボ

施工説明書

正しく取り付けていただくため、施工前にこの施工説明書を必ずお読みください。

別冊「施工要領書」に記載の「取扱説明書（お客様用）」をコピーしていただくか、下記ホームページアドレスから「取扱説明書（お客様用）」をダウンロードしていただき、取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明のうえ、「取扱説明書（お客様用）」を必ずお渡しください。

ホームページアドレス　http://www3.aronkasei.co.jp/anjyu/

安全上のご注意 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠ 警告

絶対に分解・修理・改造をしないこと
破損してけがの原因になります。

取り付けは必ず指定寸法に従うこと
手すりが破損し、けがの原因になります。

必ず十分強度のある壁・建築構造体に取り付け、ねじが12mm以上ねじ込まれていること
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

壁自体に強度がない場合は厚み12mm以上の合板または同等以上の下地材に取り付けるか別売の補強板（ベース材）を設けること
土壁・石膏ボード壁などの強度のない壁に直接取り付けたり、腐食している柱に取り付けると取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

⚠ 注意

必ず同梱のねじを使用し、丸棒・部材（ブラケット）・補強板（ベース材）は当社品を使用すること
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

取り付けは必ず専門業者が行うこと
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

取り付けは必ず適切な下穴をあけてからねじ固定すること
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

ねじ固定はかえりなどが出ないように行うこと
けがの原因になります。

開き戸付近に取り付ける場合は開閉するドアが手にあたらない位置に取り付けること
けがの原因になります。

丸棒を部材（ブラケット）の奥まで差し込んで固定すること
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

柱に取り付ける場合は断面寸法が30×30mm以上の柱に固定し、柱と本体の中心のずれは5mm以内にすること
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

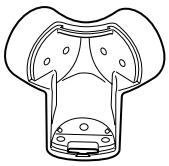
取り付け完了後、手すりにガタツキがないか確認すること
ガタツキがある場合、製品が外れたり破損してけがの原因になります。

屋外や浴室内など水がかかったり湿気の多い場所や水没する場所には設置しないこと
下地および商品を濡らさないこと
腐食・劣化し、製品が外れたり破損してけがの原因になります。

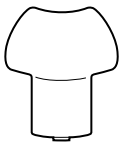
直接熱をかけたり、熱器具の近くに取り付けないこと
火災や変形・破損の原因になります。

平らでない面には取り付けないこと
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

各部のなまえ・仕様



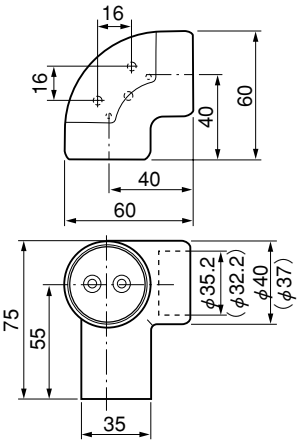
本体：1個
（材質：亜鉛合金）



カバー：1個
（材質：ABS）

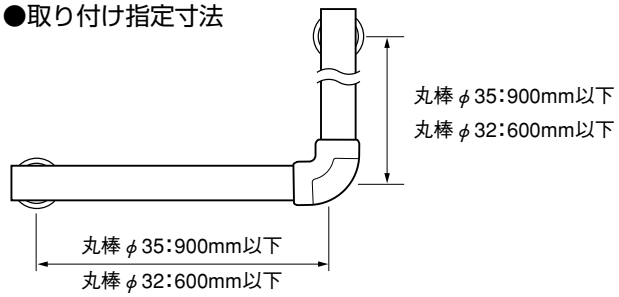
●タッピンねじ（材質：スチール）
4×40mm：3本（柱・補強板用）
3.5×20mm：4本（丸棒用）

製品寸法（単位：mm）
図中の（ ）寸法はΦ32用



取り付けかた

●取り付け指定寸法

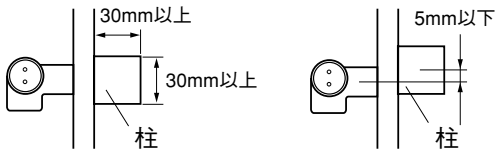


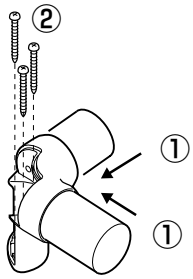
警告

取り付けは必ず指定寸法に従うこと
手すりが破損し、けがの原因になります。

注意

柱に取り付ける場合は断面寸法が30×30mm以上の柱に固定し、柱と本体の中心のずれは5mm以内にすること
取り付けが不安定になり、けがの原因になります。

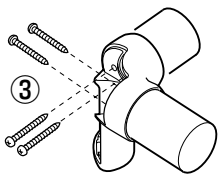




（下穴：φ3mm）

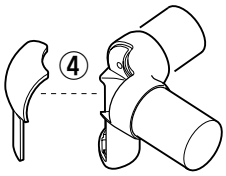
①丸棒を受け部に差し込んでください。

②柱（補強板）に下穴（φ3mm）をあけて本体をタッピンねじ（柱・補強板用）で固定してください。（3ヶ所）



（下穴：φ2.5mm）

③丸棒に下穴（φ2.5mm）をあけてタッピンねじ（丸棒用）で固定してください。（4ヶ所）



④カバーを本体に取り付けてください。